

家族みんなが快適な暮らし 「我が家」への思いあふれる家

次世代の住まい

CASE 35

宮城県牡鹿郡女川町

0さんの家

取材日／2013年6月



こだわりの外観。妻飾りをはじめ、窓モールやコーナーアクセントとして配した外壁のグレー色が全体の印象をぐっと引き締めています。



リビングは温かみのあるモミの木の手と腰壁に囲まれて、ゆったりとくつろげる雰囲気。淡いブルーのスピノフの壁とさわやかにマッチしています。存在感ある一枚板のモミの木のテーブルは来客時にも重宝しています。

「もう一回家を建てたいと思うくらい楽しかったね。」
家づくりを振り返って、感想を話してくれたOさん。モミの木の家で、弟さん家族4人との快適な暮らしを始めたのは1年ほど前でした。アヴィエスホームのスタッフと前の家のリフォームの相談をしていた2011年3月、東日本大震災で家が半壊の被害に。兄弟力を合わせて家を新築しようとして、仮設住宅に住みながらみんなで設計プランを練りました。「生活に必要なことは何か、その部屋でどんな風に過ごすのか」。間取りだけでなく家事動線やコンセントの位置、数までみんなでとことん話し合いました。
そう話す弟さんは、毎日現場に足を運び、仕上がりを確認しながら住みよい家づくりに励んだそうです。新たに収納を作ってもらうなど、現場で気づいたOさんの要望にも応えてもらって、思い通りの家が出来たね。
モミの木の家は「夏涼しく、冬暖かいって本当だね」とにこにこ笑顔のOさん。「焼肉の後にいつまでも匂いが残らないのがすごい」と弟さん。奥さまからは「子どもが咳をしなくなった」という言葉も。みんなが笑顔と健康でいられる家が一番ですね。



担当より一言

営業
千葉

当社で建築頂いたO様からのご紹介で、O様はリフォームをお考えでした。2011年3月8日に当社現地調査、3日後、解体業者様が調査。あの3月11日東日本大震災の日です。震災直後の帰り道に、業者様は、道路で泣いている女の子をお家まで送り届けたそうです。偶然にも先程調査したO様のお家でした。半年後の9月10日突然モデルに来店されました。最初は他メーカーが良いと言っておられ、モミ、スピノ、DGHにはあまり関心が無かった様に思います。お子様が喘息・アトピー等の病気を抱えていたらしく、同月25日にご契約頂きました。当初は半信半疑だったO様ですが、入居1年後モミカフェに参加し「喘息・アトピーに良い」と絶賛でした。「また建てるならモミの木の家と営業は千葉さん」と。いやあ、営業早利に尽きます。今後共末永く宜しくお願い致します。

「せっかく建てる家だから人と同じような家にしたくなかった」と話すOさんと弟さん。「こだわりを語るお話しばかりから、家族のために一つ一つに真剣に向き合って家づくりをされたことがうかがえました。」



弟さんご夫婦の寝室。ベッドの足元にテレビ台を特注しました。壁面に収納があるために生まれたアイデアですが、裏側の書斎コーナーと空間を上手く分けることにもなりました。



子ども部屋のスピノフの壁の色は子どもたちが自分で選びました。遊びにきたお友達にもうらやましがられるとか。



来客も多いので、キッチンではできるだけリビングから見えないような造りに。



収納を充実させたキッチン。吊戸棚には人気の昇降ラック「アイラック」を。DGHクッキングヒーターは「煮物は特に野菜の旨みが増す気がします」と奥さま。



CASE35:宮城県牡鹿郡女川町 Oさんのお宅
家族構成 Oさん、弟さんご家族(奥さま・長女・長男)
延べ床面積39坪 部屋5LDK
こだわり設備:モミの木の手 スピノフ壁



取材の日にお出掛けしていたY君も後日、モミカフェに来て下さいました。



タンカー船の仕事で家を空けることも多いOさんの個室。モミの木の腰壁がくつろぎ感にあふれます。



トイレには、モミの木を使ってトイレットペーパー用の収納ボックスを作りました。実用的だけでなく、インテリア性を兼ねた素敵なアイテムです。こちらは弟さんのアイデア。

